

# 区議会レポート

# 90号

葛飾区議会議員  
**かわごえ誠一**



## 本号の内容

表面：第3回定例会開会など  
裏面：決算審査特別委員会  
分科会報告

2022年10月20日発行

発行：

かつしか区民連合  
【区議会控室】〒124-0012  
東京都葛飾区立石5-13-1  
電話 03-3695-1111 (代)  
f a x 03-3697-0137

## 令和4年葛飾区議会第3回定例会閉会

◆9月13日から31日間の会期で開かれていた令和4年葛飾区議会第3回定例会が10月13日に閉会しました。

### ◆令和四年度第二次補正予算155億6,611万円議決

◆今定例会では9月26日の中間本会議で第二次一般会計補正予算155億6,611万円が議決されました。◆この第二次補正予算では公共施設・区庁舎・新金線各基金への積立ての他、新型コロナとインフルエンザ同時流行対策として高齢者へのインフルエンザ予防接種自己負担無料、プレミアム率30%商品券・キャッシュレス決済ポイント還元事業、物価・原油価格高騰対策に応じるための融資の創設、ヤングケアラー状況調査経費、高校生等医療費助成事業の準備などが盛り込まれました。

### ◆令和四年度第三次補正予算37億6,664万円議決

◆また、10月13日の会期末に電力・ガス・食料品等の価格高騰に対応するため、緊急支援給付金経費として第三次一般会計補正予算37億6,664万円が上程され、最終本会議で議決されました。これにより低所得世帯に向けて5万円が一回分支給されることになりました。

### ◆保育園運営費助成額算定相違（誤支給）について

◆区の計算式の誤りにより、私立保育園の入会費等の運営費助成額約5億1千万円が誤支給されていた件について、今回の混乱を招いた責任を取り、区長・副区長・前子育て支援部長などの給与減額の条例が可決されました。また、決算審査特別委員会において、異例の付帯決議が全会一致で議決されました。以下決議文です。

### ■令和3年度一般会計歳入歳出決算に対する付帯決議■

私立認可保育所の運営費助成額算定相違については、下記の事項に留意し、十分に対応するように強く求めるものである。

- 1 私立認可保育所の運営費助成額算定相違に関して、変換を求める方向性を踏まえ、保育所との協議の上、返済計画の設定をすること。
- 2 今後、行政に対する区民の信頼を損ね、円滑な行政運営に支障を及ぼすことのないよう、組織的なチェック体制の構築等、適正な業務執行体制の確保を行うこと。
- 3 本件の処理については、適宜適切に区議会への説明に責任を果たすこと。

以上 決議する。

## ◆長崎原爆犠牲者慰靈平和祈念式典参列報告◆

◆去る8月9日に長崎市において「被爆77周年長崎原爆犠牲者慰靈平和祈念式典」が開催されました。葛飾区から区議会議員5名が派遣され、かわごえ誠一も参列いたしました。新型コロナウイルス感染症COVID-19のため、この2年間は縮小されての開催が続き、葛飾区からは3年ぶりの派遣となりました。また、式典の前に平和公園内で葛飾原爆被爆者の会（葛友会）の献水の儀に参列いたしました。平和宣言ではロシアの核兵器による威嚇に強い危機感を持ち、日本に平和外交へのリーダーシップと、核兵器のない世界実現への力になることへの期待が語られました。「長崎を最後の被爆地に」の思いを改めて重く受け止め、被爆者の高齢化が進む中、被爆体験はもとより戦争体験を後世に伝えることの難しさ、大切さを感じ帰途に着きました。



### ■かわごえ誠一連絡先■

〒124-0012 葛飾区立石8-47-18

携帯電話 090-2932-7315

e-mail : info@kawagoeseiichi.com

かわごえ誠一オフィシャルサイト

**www.kawagoeseiichi.com**

日々の活動はFacebookをご覧ください。

### ◆かわごえ誠一プロフィール◆

●1963年3月川崎市生まれ ●立石在住33年 ●防災士 ●東海大学第二工学部建設工学科卒業 ●元東京工業大学附属科学技術高校非常勤講師 ●本田消防団第四分団班長 ●葛飾区ボッチャ協会会長 ●学童保育クラブ増設運動、保田養護学校存続運動、三番瀬保全活動、保育園、学童保育クラブ父母会、小・中PTA連合会、おやじの会、図書館友の会、子育てネットワークなどに携わる ●元都議会議員秘書を経て2013年区議会議員選挙で初当選・2021年三期目当選 ●議会所属：建設環境委員会委員長・区民サービス向上対策特別委員会・議会運営委員会など

# 区議会令和3年度決算審査特別委員会報告

◆第三回定例会では決算審査特別委員会が設置され、令和3年度決算について、四つの分科会に分れ審議されました。かわごえは環境費・都市整備費を審査する第三分科会と、教育費と各特別会計などを審査する第四分科会に所属しました。以下、分科会でのかわごえの発言要旨を報告します。なお分科会での発言に先立ち、今決算での保育園誤支給の扱いについて明確にするよう求めました。

## ◆第三分科会（環境費・都市整備費）

### ■ 環境費 ■

#### ● 環境推進費

◆昨年度の環境基本計画策定でのゼロエミッション達成は葛飾区だけでは実現できない。「地域循環共生圏」の具体化に向け、区と包括協定を結ぶ自治体など地方とカーボンオフセットなどの連携を求める。そのために環境課だけでなく観光課など地方と関係の深い部署と協力し、庁内組織を越えた体制整備を求める。

◆屋上・壁面緑化推進経費では執行率が低い現状について分析し、推進するため本区の状況に応じた制度のあり方の検討を求める。

◆生物多様性保全はSDGs実現のため、ビオトープが重要だが、持続が難しいのが現状だ。環境課のみでなく、都市整備部や教育委員会と連携し、横串を刺したビオトープ整備・管理を求める。

◆外来種対策は5月の法改正で特定外来種に指定されたミシシッピアカミミガメ・アメリカザリガニが池や川への投棄されることが危惧される。国の動向を注視し、区として即応できる体制整備を求める。また水元小合溜などで捕獲されたカミツキガメなど特定外来生物の展示を区内各施設で企画し、区民への周知を求める。

#### ● 清掃費

◆資源回収では全プラスチックリサイクルに向けモデル地域での実施へ方向性を示すことを求める。また、全プラリサイクルの推進に向けては再商品化が重要であり、実現に向けて検討を求める。

◆エコライフプラザは清掃関連施設としての使用期限が過ぎていることを踏まえ、近隣の立石地区センターの閉鎖も視野に入れ、研修室の一般利用の拡大を求める。また、開館以来更新されていないエコトレーニングルームの展示を最新情報をもとに更新すると共に、環境団体と連携した企画展示の実施など充実を求める。

### ■ 都市整備費 ■

#### ● 都市整備管理費

◆民間アスベスト対策は法改正で規制が拡大した一方、費用負担が発生しているため、住宅での除却費などへの助成拡大を求める。

◆空家対策は放置された空家の管理を進めると共に、利活用の先進事例を収集し、利活用のためのマッチングなど取組みを求める。

#### ● 街づくり費

◆密集住宅整備推進事業は不燃化特区の令和7年の期限後も事業継続を求めるとともに、道路拡幅など整備が終了した後の街の活性化、地域のコミュニティ育成などまちづくりへの支援を求める。

#### ● 河川費

◆水元小合溜環境改善経費での環境調査は今後の環境保全の指標となり評価する。小合溜の特定外来生物の防除は委託契約の期限の隙間になる年度をまたぐ冬から春にかけての実施を求める。また特定外来生物は小合溜のみでなく、都の管理となる水元公園内の水路へも移動するため、都との連携した対応を求める。

#### ● 公園費

◆児童遊園維持管理において青戸六丁目にビオトープとして整備された児童遊園が管理されず放置され、観察池の水も涸れたままになっている。整備した当時の主旨を確認し、改めてビオトープとしての再整備を求める。その時には地域での環境活動の育成も視野に入れ、環境団体や近隣の小学校と協働した整備を求める。

## ◆第四分科会（教育費・特別会計他）

### ■ 教育費 ■

#### ● 教育総務費

◆学習センター・学校図書館経費は、改築校で学習センターが整備され、学習環境が充実される一方、その他の未整備の学校との環境の差が生じている。児童数増加で教室の確保が難しくなる学校など、課題のある学校への支援を進め、教育環境に格差が生じないようにすることを求める。また、学校図書館で蔵書点検が進められてきたが、教育委員会として蔵書の除籍基準を示すことを求める。また蔵書データが整理されたことにより、今後、学校間の資料の相互貸出が可能となる。資源共有化のための手続きや、学校間の輸送手段の検討など体制整備を求める。

◆自閉症・情緒障害特別支援学級は2校の増設を評価する。今後、児童生徒数の増加や、子どもの特性に合わせた環境整備をすることと、専門性を担保するため教育委員会として体制整備を求める。

◆日本語指導事業の日本語ステップアップ教室はコロナの制限が解除されつつある中、外国からの児童生徒が増加傾向にあり、教室の不足が危惧される。今後ニーズのある地域へ増設を求める。

◆不登校対策事業の校内適応教室の設置は評価するが学校によって内容に差が生じている。不登校の子どもへの心理や特別支援教育との接続、地域の支援団体との連携など、専門性を持った体制整備が必要である。また、早期の中学校での全校設置を求める。

◆いじめ防止は専門性を持った支援を共有するため、教育委員会のみでなく児童相談所との人的交流を図ることを求める。

◆総合教育センター管理運営は、多様化する子どもの課題に対し、事業が拡大してきたが、今後事業を推進するための体制整備が急務である。心理や特別支援教育など専門性や、多職種・多機関連携が求められると共に、心理的負担の多い対人職であることを踏まえ、管理職の配置や専門性を確保した体制整備を求める。

#### ● 小学校費・中学校費

◆スクールサポートスタッフは全校配置を評価し、教員の働き方改革の効果検証し、人材確保などの支援体制の充実を求める。

◆学校給食運営は、2年前に新型コロナでの緊急事態宣言後に実施した「簡易な昼食」で、区職員がシミュレーションをし実現したが、今後委託化が進む中で、感染症流行時や災害時の対応など危機管理に即応できるのか、十分検討した上で体制整備を求める。

#### ● 社会教育費

◆わくわくチャレンジ広場の委託が広がる中、現体制維持と委託導入との判断基準が不明確である。当初の理念を確認し、わくわくチャレンジ広場について区の方針を明確に示すことを求める。

◆文化財保存・活用経費では川甚の資料の保存・活用を求めると共に、重要文化的景観の保存・活用のための体制整備を求める。

◆博物館管理運営において、区制90周年を活用し区民からの資料収集を求めると共に、立石北口再開発で解体される地域へのんべ横町や旧赤線地帯等の記録化を求める。博物館だけで記録化が無理ならば地域の歴史研究者などと情報共有し、歴史の保存を求める。文化財の災害対策は地下にある博物館の収蔵庫の水害対策を進めることと合わせ、被災時の資料の修復も含めた体制整備を求める。また民間が所有する文化財の災害対策の構築を求める。